

報 告 1

令和4年度第5回
関東地方整備局
事業評価監視委員会

第4回 事業評価監視委員会における
御指摘の回答について
＜一般国道6号大和田拡幅＞

2. 事業の進捗状況と見込み等

R4.12.19 第4回事業評価監視委員会資料
一般国道6号大和田拡幅
(抜粋・一部加筆(青字))

(3) 事業の見込み等

2) 事業費変更の内容①

**[指摘事項] 仮設落石防護柵の範囲記載がない
(仮設防護柵の範囲と法枠工・ロックボルト工の対策範囲が一致していない)**

現地調査の結果による切土対策の変更.....約41億円増額
 ○当初のボーリング調査結果より切土斜面に軟岩およびローム層が堆積していることから、切土法面工は客土吹付を想定していた。
 ○現地工事着手に先立ち、試掘調査をしたところ、ボーリング調査では確認出来なかった玉石(最大60cm程度)が見つかり、対策として、法枠工、ロックボルト工と施工中の安全対策として、**仮設落石防護柵を追加**した。また、発生する玉石については、小割破碎するため、破碎・運搬費用が必要となった。

位置図(切土対策区間)



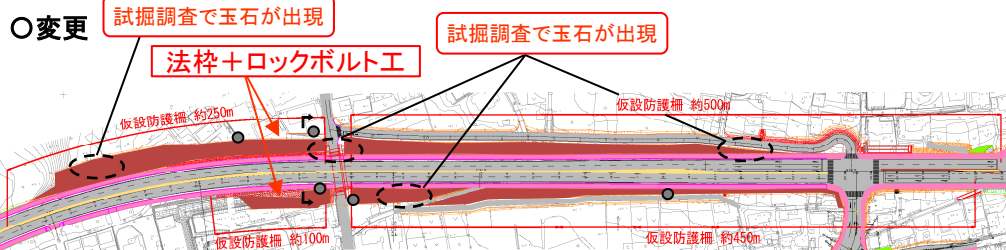
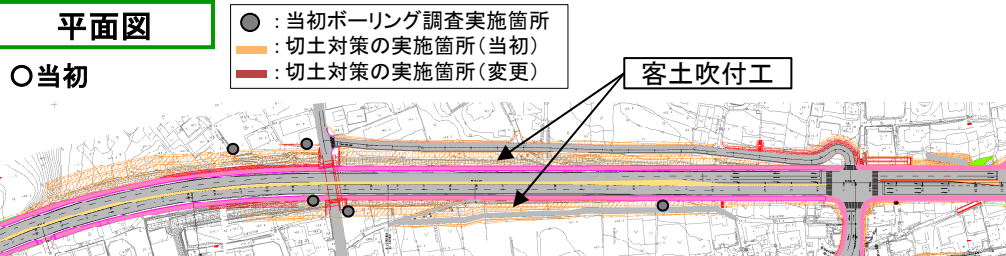
掘削土運搬先の変更



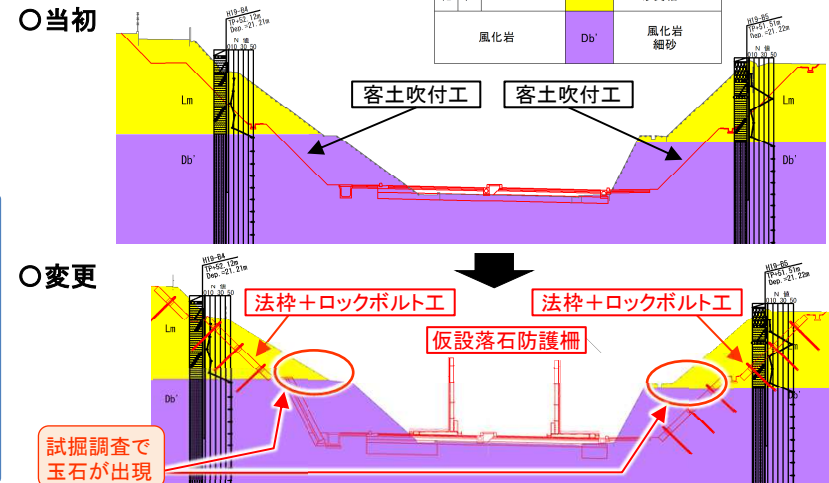
現地状況写真



平面図



断面図

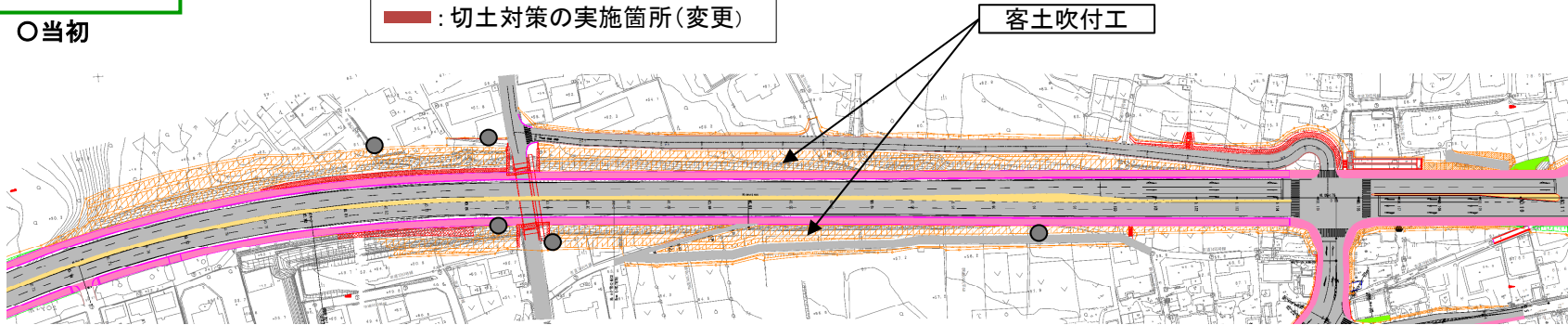


(参考) 平面図

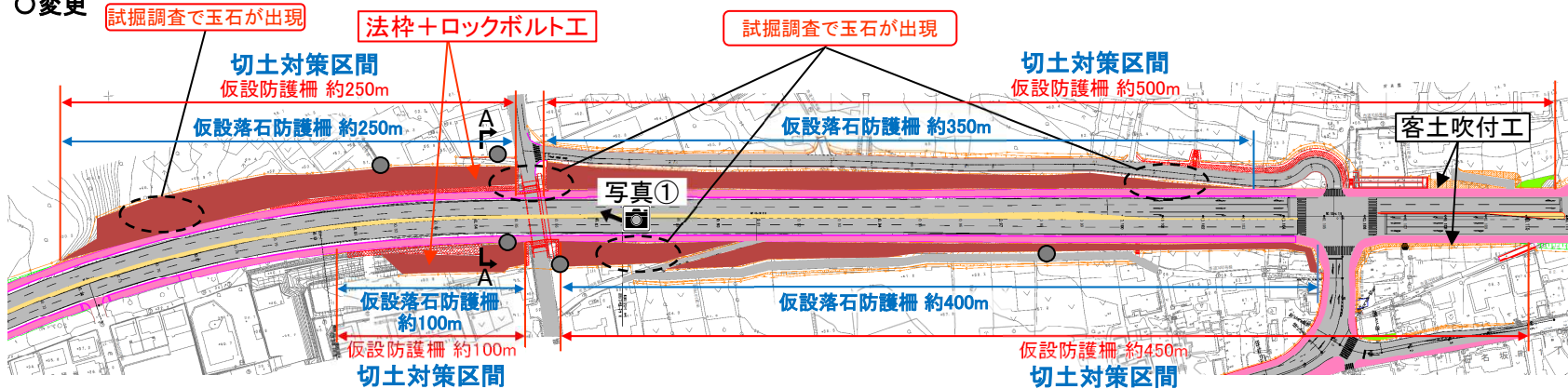
平面図

○当初

- : 当初ボーリング調査実施箇所
- (オレンジ) : 切土対策の実施箇所(当初)
- (赤) : 切土対策の実施箇所(変更)



○変更

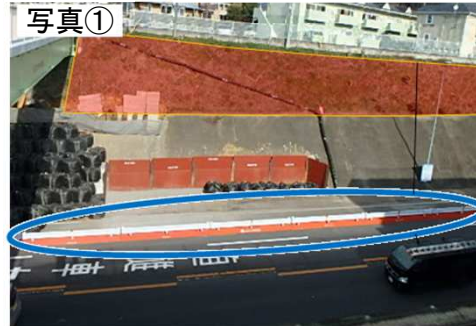


仮設落石防護柵



※設置イメージ

切土対策範囲の仮設防護柵



仮設防護柵

※本写真の区間は玉石が確認されており、仮設防護柵及び落石防護柵を設置する